



# Cisco Unity Connection 10.x における SAML SSO アクセスのトラブルシューティング

次の項を参照してください。

- 「IdP へのリダイレクションが失敗する」 (P.28-1)
- 「IdP 認証が失敗する」 (P.28-1)
- 「Unity Connection へのリダイレクションが失敗する」 (P.28-2)
- 「[テストの実行 (Run Test)] が失敗する」 (P.28-2)
- 「パブリッシャおよびサブスクリバ サーバの SAML ステータスの不一致」 (P.28-2)
- 「SAML SSO 機能のステータスが Unity Connection クラスタ内の 2 台のサーバで正しくない」 (P.28-3)
- 「SAML SSO アクセスでの問題の診断トレース」 (P.28-3)

## IdP へのリダイレクションが失敗する

エンドユーザが Unity Connection でサポートされている Web ブラウザを使用して SAML 対応 Web アプリケーションにログインしようとする、認証の詳細を入力するために設定された Identity Provider (IdP) にリダイレクトされません。

ソリューション

次の条件が満たされていることを確認します。

- IdP がアップの状態、稼働中である。
- 正しい IdP メタデータ ファイル (idp.xml) が Cisco Unity Connection にアップロードされている。
- サーバと IdP が信頼と同じ範囲にあるかどうかを確認する。

## IdP 認証が失敗する

エンドユーザが IdP によって認証されません。

## ソリューション

次の条件が満たされていることを確認します。

- LDAP ディレクトリが IdP にマッピングされている。
- ユーザが LDAP ディレクトリに追加されている。問題が解消されない場合には、Unity Connection と IdP に関連付けられた NTP サーバを確認します。これらの両方のサーバに関連付けられた NTP サーバの時刻が同期化されていることを確認します。
- LDAP アカウントがアクティブである。
- ユーザ ID とパスワードが正しい。

## Unity Connection へのリダイレクションが失敗する

IdP で認証された後でも、ユーザが SAML SSO 対応 Web アプリケーションにリダイレクトされません。

## ソリューション

- Unity Connection および IdP のクロックが同期化されている。クロックの同期の詳細については、『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「NTP Settings」の項を参照してください。
- 必須属性の uid が IdP で設定されている。
- 正しい Unity Connection サーバのメタデータ ファイルが IdP にアップロードされている。
- ユーザに必要な権限がある。

## [テストの実行 (Run Test)] が失敗する

[テストの実行 (Run Test)] が Unity Connection で失敗する場合

## ソリューション

「IdP へのリダイレクションが失敗する」(P.28-1)、「IdP 認証が失敗する」(P.28-1)、および「Unity Connection へのリダイレクションが失敗する」(P.28-2) で説明されている修正処置を参照してください。

## パブリッシャおよびサブスクリバサーバの SAML ステータスの不一致

Unity Connection のパブリッシャサーバとサブスクリバサーバの SAML ステータスに不一致が発生した場合

## ソリューション

- IdP メタデータがサブスクリバサーバで正しいかどうかを確認します。正しくない場合、[SAML シングルサインオン (SAML Single Sign-On)] Web ページから [メタデータの再インポート (Re-import Meta Data)] オプションを選択します。
- 問題が解消されない場合には、[無効になっているすべてのサーバを修正 (Fix All Disabled Servers)] オプションを選択します。



(注) Unity Connection クラスタの場合は、パブリッシャ サーバのメタデータを再インポートするオプションはありません。

## SAML SSO 機能のステータスが Unity Connection クラスタ内の 2 台のサーバで正しくない

SAML SSO 機能のステータスが Unity Connection クラスタ内の 2 台のサーバで異なる場合

ソリューション：

- SAML SSO のステータスがサブスクリバ サーバで無効で、パブリッシャ サーバで有効の場合、サブスクリバ サーバで Cisco Unity Connection の管理 にログインし、[ 無効になっているすべてのサーバを修正 (Fix All Disabled Servers) ] オプションを選択します。
- パブリッシャ サーバが到達不能な場合、サブスクリバ サーバの SAML SSO 機能を無効にする場合は、パブリッシャ サーバから SAML SSO 機能を明示的に無効にする必要があります。逆の場合も同様になります。問題が解消されない場合は、サーバをリポートする必要もあります。
- パブリッシャの再構築では、管理者が明示的にクラスタのパブリッシャ サーバの IdP メタデータ ファイルを更新する必要があります。

## SAML SSO アクセスでの問題の診断トレース

Unity Connection トレース レベルを有効にして、SAML SSO 機能に関連した問題を検出し、調査することができます。トレースは、システム サーバへのコマンドラインアクセス (CLI) から始まります。

特定のコマンドによって、SAML SSO のトレースがオンになります。

```
admin: set samltrace level <trace-level>
```

定義されたトレースは、次のとおりです。

- デバッグ (Debug)
- 情報 (Info)
- 警告 (Warning)
- エラー (Error)
- 重大 (Fatal)

トレースは、Unity Connection の次の場所で収集されます。

```
/var/log/active/tomcat/logs/ssosp
```

